

給与所得者異動届出書記載例 ①退職により普通徴収（本人納付）とする場合（届出書P13）

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書
特別徴収

※11月1日以降に提出される場合は次年度の特別徴収の異動にも反映します。

出雲市長 宛 (市民税課) (693-8530 鳥根県出雲市今市町70番地) 令和 5 年 8 月 31 日提出	給与支払者 (特別徴収者)	所在地	〒693-0001 出雲市今市町70番地		特別徴収義務者 指定番号	75010305			
		フリガナ	〇〇カブシキカイシャ		担 属	給与係			
		氏名又は名称	〇〇 株式会社		当 氏 名	出雲花子			
		個人番号又は法人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4	者 先 電 話	0853-21-2211 内線 ()				
給与所得者	特徴番号	1		(ア)	(イ)	(ウ)	異 動 年 月 日	異 動 の 事 由 1. 退職 2. 転勤 3. 休職・長欠 4. 死亡 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. その他 事由・理由 ()	異動後の未徴収税額の徴収方法 1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)
	フリガナ	イズモイチロウ		特別徴収税額 (年税額)	徴収済税額	未徴収税額 (ア)-(イ)			
	氏 名	出雲 一郎		94,000 円	6 月から 8 月まで	9 月から 5 月まで	8 月 15 日		
	生年月日	平成2 年 2 月 22 日			94,000 円	23,800 円			
	個人番号			〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地			同上		
	受給者番号				〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地	同上			
	1月1日現在の住所			〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地			同上		
異動後の住所			〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		同上				

十八号様式 (用紙日本産業規格A4) (第十条関係)

1. 特別徴収継続の場合

新しい勤務先 (特別徴収義務者)	特別徴収義務者 指定番号	〒 (新規) 個人番号 又は法人番号		新しい勤務先へは、
	所在地			月割額 円を
	フリガナ			納入期限分) から
	氏名又は名称			連絡済みです。

今年度特別徴収該当ではなく税額が不明な方については、税額は空欄で提出してください。
(給与支払報告書を特別徴収で提出したが、普通徴収へ切り替える場合等。)

2. 一括徴収の場合

理由	<input type="checkbox"/> 1. 異動が令和5年12月31日までで、一括徴収の申出があったため <input type="checkbox"/> 2. 異動が令和6年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した税額は、
		月 日	円	<input type="checkbox"/> 月分 (翌月10日納入期限分) で納入します。

3. 普通徴収の場合

理由	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 異動が令和5年12月31日までで、一括徴収の申出がないため <input type="checkbox"/> 2. 令和6年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額 (ウ) 以下であるため <input type="checkbox"/> 3. 死亡による退職であるため	※市町村記入欄	現年度 (令和5年度) 特落・転勤・退職一括 特上・普徴・課税なし 特徴 () ・処理不要 新年度 (令和6年度) 特落・転勤・退職一括 特上・普徴・課税なし 特徴 () ・処理不要
----	--	---------	--

給与所得者異動届出書記載例 ③退職者が新勤務先での特別徴収継続を希望している場合（届出書P13）

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書
特別徴収

※11月1日以降に提出される場合は次年度の特別徴収の異動にも反映します。

出雲市長 宛（市民税課） （693-8530 鳥根県出雲市今市町70番地） 令和 5 年 8 月 31 日提出	給与（特別義務徴収者）支払者	所在地	〒693-0001 出雲市今市町70番地		特別徴収義務者 指定番号	75010305			
		フリガナ	〇〇カブシキカイシャ		担 属	給与係			
		氏名又は名称	〇〇 株式会社		当 氏 名	出雲花子			
		個人番号又は法人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4	者 先	電 話	0853-21-2211 内線（ ）			
給与所得者	特徴番号	1		(ア)	(イ)	(ウ)	異 動 年 月 日	異 動 の 事 由	異動後の未徴収税額の徴収方法
	フリガナ	イズモイチロウ		特別徴収税額 (年税額)	徴収済税額	未徴収税額 (ア)-(イ)			
	氏 名	出雲 一郎		94,000 円	6 月から 8 月まで	9 月から 5 月まで	8 月 31 日	1. 退 職 2. 転 勤 3. 休職・長欠 4. 死 亡 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. その他 事由・理由	1. 特別徴収継続
	生年月日	平成2 年 2 月 22 日			94,000 円	6 月から 8 月まで			
	個人番号			94,000 円			6 月から 8 月まで	9 月から 5 月まで	令 和 5 年
	受給者番号				94,000 円	6 月から 8 月まで			
	1月1日現在の住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		94,000 円			6 月から 8 月まで	9 月から 5 月まで	令 和 5 年
異動後の住所	同上		94,000 円		6 月から 8 月まで	9 月から 5 月まで			

1. 特別徴収継続の場合

新しい勤務先 (特別徴収義務者)	特別徴収義務者 指定番号	7501500		新規	個人番号 又は法人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 9 8 7	新しい勤務先へは、 月割額 7,800 円を 9 月分（翌月10日納入期限分）から 徴収し、納入するよう連絡済みです。
	所在地	〒693-0000 出雲市今市町〇〇番地		担当者連絡先	所属	人事部	受給者番号
	フリガナ	△△ユウゲンカイシャ		氏名	出雲 三郎		
	氏名又は名称	△△有限公司		電話	0853-21-6898 内線（ ）		納入書の要否 (新規の場合のみ記載)

2. 一括徴収の場合

理由	<input type="checkbox"/>	1. 異動が令和5年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2. 異動が令和6年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した税額は、 <input type="checkbox"/> 月分（翌月10日納入期限分） で納入します。
			月 日	円	

3. 普通徴収の場合

理由	<input type="checkbox"/>	1. 異動が令和5年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 令和6年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額（ウ）以下であるため 3. 死亡による退職であるため	※市町村記入欄	現年度 (令和5年度)	特落・転勤・退職一括 特上・普徴・課税なし 特徴（ ）・処理不要
			新年度 (令和6年度)	特落・転勤・退職一括 特上・普徴・課税なし 特徴（ ）・処理不要	

十八号様式（用紙日本産業規格A4）（第十条関係）

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書 特別徴収

※11月1日以降に提出される場合は次年度の特別徴収の異動にも反映します。

十八号様式 (用紙日本産業規格A4) (第十条関係)

出雲市長 宛 (市民税課) (693-8530 鳥根県出雲市今市町70番地)		給与支払者 (特別徴収者)	所在地	〒				特別徴収義務者 指定番号	
令和 年 月 日提出			フリガナ					担連	所属
			氏名又は名称					当絡	氏名
			個人番号又は法人番号					者先	電話
給与所得者	特徴番号			(ア)	(イ)	(ウ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収方法
	フリガナ			特別徴収税額 (年税額)	徴収済税額	未徴収税額 (ア)-(イ)			
	氏名	年 月 日			<input type="text"/> 月から <input type="text"/> 月まで	<input type="text"/> 月から <input type="text"/> 月まで	月	右から 番号を 記入	右から 番号を 記入
	生年月日								
	個人番号			円	円	円			
	受給者番号								
	1月1日現在の住所								
異動後の住所									

1. 特別徴収継続の場合										新しい勤務先へは、 月割額 _____ 円を <input type="text"/> 月分 (翌月10日納入期限分) から 徴収し、納入するよう連絡済みです。	
新しい勤務先 (特別徴収義務者)	特別徴収義務者 指定番号	新規				個人番号 又は法人番号				受給者番号	
	所在地	〒				担当者連絡先	所属			納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	
	フリガナ					氏名			右から 番号を 記入		
	氏名又は名称					電話	内線 ()		1. 必要 2. 不要		

2. 一括徴収の場合										左記の一括徴収した税額は、 <input type="text"/> 月分 (翌月10日納入期限分) で納入します。	
理由	1. 異動が令和5年12月31日までで、一括徴収の申出があったため				徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)					
	2. 異動が令和6年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため				月 日	円					

3. 普通徴収の場合										※市町村記入欄	
理由	1. 異動が令和5年12月31日までで、一括徴収の申出がないため				現年度 (令和5年度)	特落・転勤・退職一括 特上・普徴・課税なし 特徴 () ・処理不要					
	2. 令和6年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額 (ウ) 以下であるため				新年度 (令和6年度)	特落・転勤・退職一括 特上・普徴・課税なし 特徴 () ・処理不要					
3. 死亡による退職であるため											